

## 育児・介護に関するアンケート結果 まとめ

2015年3月18日(水)

芸術工学研究院 男女共同参画委員会 FD

2015年1月下旬から2月上旬にかけて、芸術工学研究院の教職員・研究員・大学院生・研究生を対象に「育児・介護に関するアンケート」調査を実施しました。ご協力くださり、ありがとうございました。

全体の集計結果は、次ページ以降をご参照ください。とくに目を引いた点については、下記のとおりです。

### 1. 全体の集計結果を受けて

- II-(8)～(15)より：全体として学内保育施設は必要と考えられる。
- II-(11)～(12)より：介護休業制度および部分休業制度の利用者は1人しかいない。
- II-(9)より：ハンドインハンドなどの補助制度を男性も利用できるようする必要がある。

### 2. 職種別・男女別クロス集計結果（集計結果は省略）を受けて

#### ●II-(6)より

- ・教員：「出産育児と研究・仕事の両立しやすいか」という設問の回答に男女差があった。
- ・事務・技術職員：「出産育児と研究・仕事を両立する際の問題」として「出張時や病気の時の子どもの世話」に男女差が（女性%が2倍以上）、「休みをとりにくい」に男女差が（男性%が3倍以上）あった。「配偶者の協力」と答えた男性は0人であった。
- ・大学院生：「周りの人の理解が不十分」と答えた男性は0人であった。

#### ●II-(10)～(11)より

- ・「育児休暇制度利用者」「介護休業利用者」のうち男性は0人であった。